Course number		U-LAS70 10001 SJ50											
Course title (and course title in English)	III.ASレミナー 田宮科子ハー				na	Instructor's name, job title, and department of affiliation		Field Science Education and Research Center Professor,SHIMOMURA MICHITAKA					
Group	Seminar	eminars in Liberal Arts and Sciences					er of credits	2 Hours			30		
Class style seminar (Face-to-face cou)	Year/semest		ters 2025 • Intensive, Finsemester		rst	Quota (Freshma		5 (5)		
Target year	1st ye	ear students	Eligible studen			Fo	or all majors		Days and periods		Intensive TBD		
Classroom										guage of ruction	Japa	anese	
Keyword	多様性生物学および分類学関連 / 形態学 / 生態学 / 甲殻類												

[Overview and purpose of the course]

甲殻類は世界から67,000種が知られている節足動物門で2番目に大きなグループである。1番大きなグループである昆虫は主に陸上で栄えているが、甲殻類は主に川や海などの水圏で繁栄している。甲殻類には大型のエビ・カニ・ヤドカリ類以外にも多くの小型の種を含んでおり、それらの形態や生活様式は様々である。

本ILASセミナーでは主にフィールド調査と形態観察を行い、甲殻類の多様性を学ぶことを目的と する。

[Course objectives]

- ・甲殻類の機能的な形態と適応的進化について理解する。
- ・フィールド調査の基本を学ぶ。
- ・課題に対して自主的、継続的に取り組む能力を養う。

[Course schedule and contents)]

4月中旬に農学部総合館でオリエンテーションを行う。

実習は5月3日(土)~5月5日(月)(予定)の日程で、和歌山県西牟婁郡白浜町にある京都大学瀬 戸臨海実験所にて行う。

実験所周辺の干潟、砂浜、岩礁海岸で甲殻類の採集調査とフィールド観察を行い、形態と生活様式 の多様性について学ぶ。また、プランクトン採集によって小型甲殻類を採集し、カイアシ類や十脚 類の幼生の形態や生活史について理解する。

|実習期間中にレポート課題を提示し、実習終了時にレポートを提出する。

|実習の詳細については初回オリエンテーション時に受講者と調整を行う。

高速バス利用の場合、大阪 白浜往復で約7,000円(京都発はございません)、またはJR利用の場合 京都駅 白浜駅往復で約15,000円の交通費がかかります。

Continue to ILASセミナー : 甲殻類学入門(2)

ILASセミナー : 甲殻類学入門(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

実習への積極的な参加(50点)、レポート(50点)により評価する。

レポートは調べた情報の羅列ではなく、自分で考えた内容を高く評価する。

[Textbooks]

甲殻類の同定に必要な図鑑等はこちらで準備します。甲殻類の体制(ボディプラン)を理解するためのプリントを配布します。

[References, etc.]

(References, etc.)

石川良輔(編) 『節足動物の多様性と系統』(裳華房) ISBN:978-4785358297

[Study outside of class (preparation and review)]

オリエンテーション時に、実習までに予習すべきことを指示します。

[Other information (office hours, etc.)]

- ・学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ必ず加入してください。
- ・交通費・食費は受講生負担となります。
- ・宿泊は瀬戸臨海実験所の宿泊棟を利用します。シーツのクリーニング代として900円を徴収しま す。
- ・実習中、わからないことについては積極的な質問を期待します。